

令和2年度 上峰町総合教育会議 会議要旨

1 会議名

令和2年度 上峰町総合教育会議

2 開催日時

令和2年11月20日(金) 9:00 開会 10:00 閉会

3 開催場所

上峰町役場 202 会議室

4 出席者

武廣町長、野口教育長、平川(未)委員、時津委員、田中委員
馬場委員、平川(利)委員、江頭委員、衛藤委員、片渕委員

5 出席説明者

庄嶋校長(上峰小)、西村校長(上峰中)、中島教育委員会事務局長
松永教育課副課長、筒井教育課学校教育係長
岡田子ども支援センター相談員

6 傍聴者

なし

7 協議事項

(1) 子ども支援センター活動状況・今後の予定について

① 活動状況

- ・ 11月19日現在で小学校から2名申請済み。中学校から1名申請に向けて準備中
- ・ 児童生徒が安心して通級できるよう、現在はトランプやボードゲームなど児童生徒が楽しめる活動を相談員と一緒にしている。相談員は児童生徒との関係づくりに努めている。

② 今後の予定

- ・ 児童生徒と相談員の関係がある程度構築できれば、学習活動に取り組ませる予定である。
- ・ 1月に芸術療法士による陶芸教室を企画予定。

③ 参加者からの意見

- ・ 部屋が殺風景ではないか。

- 子どもによっては道具や掲示物が刺激になりすぎる場合もあるので子どもの状況に合わせて環境づくりを行っていく。
- ・ 子どもが体を動かせるスペースなどがあればいい。
- ・ 民生委員など地域の人たちへの周知も必要
- ・ 保護者の送迎が難しい場合は、子どもに通級する気持ちがあれば通級できる環境を作ることが大切ではないか。
- 現在、乗合タクシーを利用した通級について話を進めている。
- ・ 相談員による寄り添う支援だけでなく、専門的なアドバイスができる専門家も必要ではないか。
- 現在は小中学生を対象とした適応指導教室として機能している。今後就学前や青年期にある子どもたちへの支援も行っていくのであれば、専門家の配置も必要になってくる。

(2) GIGAスクールの今後の見通しについて

① 校内LANの整備

児童生徒1人1台端末の利用を前提とした学校の高速大容量通信ネットワークの整備

② 1人1台端末の整備

令和2年度に604台、令和3年度の201台を整備予定。

③ 1人1台端末の活用方法

- ・ 授業や学校行事
- ・ 災害や感染症による臨時休業等におけるオンライン授業
- ・ 不登校や病気等で学校に登校できない児童生徒に対するオンライン授業
- ・ 特別支援学級での活用

④ オンライン授業について

- ・ 10月に「オンライン授業の日」を設定し、小学校は5・6年生で、中学校は1・2年生でオンライン授業を実施。
- ・ オンライン授業を自宅で受けるために必要な端末、インターネット環境がない家庭が全体の約25%。

⑤ 参加者からの意見

- ・ 多額の予算をかけて整備されている。しっかりと成果を出せるよう活用方法を工夫してもらいたい。
- ・ 先進的な取組に期待している。

8 その他

- ・ 特になし